

# キャリア・コンサルティング技能検定2級 学科・実技（面接）試験 体験記

平成 28 年 3 月 26 日

2 級受検番号 NO 03S3120099 氏 名 R. k.

## 1 試験に向けた準備の状況

いつ頃から始めたか ・ 4 月下旬

### \* どのような内容を、どの程度行ったか

- ・ 2 級第 14 回試験に合格すべく、「2 級キャリア塾」の実技対策のみ、全て受講した。検定後のフォローアップまで、しっかり受講した。「2 級キャリア塾」と、フォローアップ講座の受講が、第 15 回試験での合格に結びついたと断言出来る。
- ・ 論述は、「書く」行為なので、書くという動作の訓練は、ほとんど毎日欠かさず続けた。解答を何度も推敲して、限られたスペースに記述する動作の訓練と、限られたスペースに書き切る思考パターンを構築していった。
- ・ 面接は、「聴く・話す」行為なので、日常生活における会話そのものを、面接対策にしていた。（傾聴・共感・繰り返し・言い換え・相づち等を日常でも用いるようにした）

### \* 準備に対する振り返り

- ・ 学科試験は、第 13 回試験で合格していた。論述は、第 14 回試験で合格点に達しており、論述については、合格点に達する為に、どのような練習をして、どのように解答すれば良いのかを把握する事が出来ていた。
- ・ 面接試験は、相談者役によって合否が左右される事は、やはりあると思う。しかし、「2 級キャリア塾」の第 14 回試験フォローアップ講座で、「1 級キャリア塾」の受講者と木村先生から、多くの事項をご指導いただき、そこで自分の面接対策で足りなかった事がわかり、合格に向けて何をすべきかがわかった。  
つまり、第 14 回試験対策の「2 級キャリア塾」を受講した事で、論述のノウハウを把握し切り、試験後の「フォローアップ講座」で第 15 回試験の面接に向けて、今度こそ大丈夫という境地に達する事が出来た。

### \* これから受検する人へのアドバイス

- ・ 講師の中には「2 級技能検定一発合格」という事を、誇らしげに謳っている方がいます。しかし、合格のためには、私自身がそうであるように、「不合格者が、何をどう改善したから合格できたか」を知ることの意味が大きいと思う。  
「2 級キャリア塾」や「ロープレ三昧」では、多くの技能士有資格者であるのコーチ役の方々から、不合格の失敗談を聞く事が出来た。私は、これらの講座を受講したことで「不合格者が、何をどうすることで、合格出来るのか」がわかりました。

2 試験当日の状況（試験場での様子を思い出しながら、記述または選択して○をつけてください）

試験日： 1月 12日 (午前)・午後

\* 試験希望日をこの日に設定した理由は何ですか。

・大学入試センター試験の監督業務があるので、早めに終わらせておきたかった。

試験会場： (東京) 大阪

試験官の性別： 男性1人、女性1人

事例番号： 1 2 3 (4) 5

ロールプレイの時間：ロールプレイ 20分のうち 20分程度

口頭試問の時間：10分のうち 10分程度

3 試験の状況（ロールプレイの流れや特徴点について記述してください。その他、試験中に意識したこと、注意したこと、事例相談者の対応など、気づいたことを自由に）

① 導入部	緊張している相談者役を安心させ、リラックスさせるような出だしを心掛けた。 本来、緊張しているのは受検者である自分なのだが、過去の受検経験で、相談者役も緊張しているのが分かっていた。受検者である自分が、相談者役をリラックスさせるように気遣っていった。
② 基本的態度	オープンクエスチョンを投げ掛ける事によって、相談者の感情面における問題点に共感していく態度を示していった。共感する姿勢を見せる事で、基本的態度におけるチェックポイントをクリアし、得点を稼いでいく。
③ 関係構築	まず傾聴であるが、それだけでは駄目。言い換え技法を用いて、相談者の問題をコンパクトにまとめながら共感していく。そして、緊張していた相談者役と、いわば「意気投合」した場面を、採点者に見せていく。
④ 問題把握	相談者役が抱えている問題点は、「問題文+α」である。この+αの部分を相談者役に気づかせ、言わせていく。そのためには、相談者役をリラックスさせ、相談者が述べた問題点について、言い換えと繰り返し技法によって整理していく事がポイントである。
⑤ 具体的展開	相談者役が言い残している事が無いか、自分が立てた方策がそれで良いのか、確認を取りながら進めた。
⑥ 口頭試問の内容と回答	自分が行ったロープレについて、口頭試問で質問された時に、きちんと「自分がやった事は、自分でわかってやっている」ということを採点者に示していくことが重要。また、「良かった点・悪かった点」は、必ず質問される。ロープレの最中、口頭試問に備えて、良かった・悪かったことで話す内容を揃えていく。

これから受検する人へのアドバイス

2級キャリア塾の第14回試験フォローアップ講座で、1級キャリア塾の受講者に、自分の試験でのロープレについて、事例相談を行った。この時のスーパービジョンの経験によって、自分のロープレにおける不足点が把握出来たこと、そして、スーパーバイザーから、基本的態度や相談対応への考え方を学ぶ事が出来たことが、私の合格の決め手になった。